

コントローラーへの関わり方



質問をしすぎない

質問する時は何のために知りたいのかを伝える

あまり褒めると自分をどうにかしようとしていると感じるので褒めすぎないで、褒める時は成果や事実を伝えることで承認をする

くどくど話さない、結論から伝える
教えてほしいなあという枕詞は結構有効

自分で判断しやすい環境を整えてあげる

頭ごなしに話すと、頭の回路を閉ざしてしまう

何かをしてほしい時は いくつかの選択肢を用意して選ばせてあげる

プロモーターへの関わり方



肯定的なメッセージをたくさん伝える

話を聞くときは 相づちや身振りなどちょっと大げさなほうが安心して話し盛り上がってくる

何かする時はアイデアなどをまず豊富に語らせる

褒められるのはなんでも好きなので
すごいなあ・えらいなあ・さすがだなあ・と伝えるとモチベーションアップ

継続することを褒めながらフォローしていく

何かをしてほしい時は、やれると信じてることを伝え、行動の自由を制限させていると感じるので細かいことはグダグダ言わない

アナライザーへの関わり方



大きな変化、急な行動は求めない

褒めるためには具体的にこだわった部分や工夫したというピンポイントを褒めると効果的

質問は「今日学校どうだった？」などという間口の広いものではなく、「今日の算数の授業はどうだった？」という絞った質問をする

正確であることが大切なので、データを集めて整理する時間を取ったり、情報を細かく提供したりする

計画した通りに、実行したいので途中で変更したりする時は、その理由を明確に伝える

サポーターへの関わり方



助かってるよ。うれしいよ。ありがとう。

というような貢献してくれてるねという言葉、何度も繰り返して伝えることが大切

人間関係に敏感なので、まわりがみんな合意してる事を伝えると安心して行動する

何事も丸投げしないで、進み具合を聞いたり、これからすることを確認し合う時間を取ることで、次に進む

いい人でいたいあまり、YES と言ってしまふところがあるので、言葉で YES と言ったとしても表情を見たり、声のトーンを聞いて、NO かもと感じたらちょっと YES っついでいのもありよ。などと言って NO を言わなくても済む方法で こちらが NO なんだからと心の中で判断する